

参考文献

第一章 亀山城の築城

- 亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』（亀山市、昭和六十一年）
- 近藤鐸山翁頌徳会内奥山宇七編集『鐸山歌集』（昭和十四年）
- 山田木水『伊勢亀山城』（謄写版、昭和三十五年配付）
- 山田水木『亀山地方郷土史』第一卷（三重県郷土資料刊行会、昭和四十五年）

第二章 亀山藩政

- 上野市古文文献刊行会編『公室年譜略』（清文堂、平成十四年）
- 学習院大学史料館編『旧華族史料所在調査報告書』（平成五年）
- 亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』（亀山市、昭和六十一年）
- 川村博忠『江戸幕府撰国絵図の研究』第一章（古今書院、昭和五十九年）
- 黒板勝美編『徳川実記』第三篇（『新訂増補国史大系』第四十巻、吉川弘文館、昭和五年）
- 黒板勝美編『徳川実記』第五篇（『新訂増補国史大系』第四十二巻、吉川弘文館、昭和六年）
- 黒板勝美編『徳川実記』第八篇（『新訂増補国史大系』第四十五巻、吉川弘文館、昭和八年）
- 黒板勝美編『徳川実記』第九篇（『新訂増補国史大系』第四十六巻、吉川弘文館、昭和九年）
- 佐々木宣明・藤田和男「巻第六上中下 古新高・所務部 解説」（亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』（亀山市、昭和六十一年）
- 高木昭作『日本近世国家史の研究』第三章（岩波書店、平成二年）
- 高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬『新訂寛政重修諸家譜』第八巻、寛政重修諸家譜巻第五百 平氏 清盛流 関（続群書類従完成会、

昭和五十九年)

谷口昭「近世の領知法と家産官僚」『名城法学』四五卷二号
(平成七年)

谷口昭「亀山拾冊―松平乗邑の足跡―」(『三重の古文化』八二―
平成十一年)

谷口昭「一メガバイトの発信―毛筆と飛脚の時代から―」
(名城大学『知の結集』平成十三年)

谷口昭「最後の転封―伊勢亀山藩の場合―」(『三重県史研究』三
昭和六十二年)

谷口昭「亀山藩史料解題」(『藩法集』一二 続諸藩 創文社、昭和
五十年)

谷口昭「解説」(亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々
五集』亀山市、昭和六十一年)

谷口昭「亀山藩概説」(亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記
録九々五集』(亀山市 昭和六十一年)

谷口昭「寛文期における地域社会と幕府評定所」(『三重県史研究』
二三、平成二十年)

山田木水『亀山地方郷土史』第二卷 (三重県郷土資料刊行、
昭和四十六年)

山田木水『亀山地方郷土史』第二卷 (三重県郷土資料刊行会、
昭和四十六年)

『当代記』卷七 (『史料雑纂』第二 当代記・駿府記、続群書類従
完成会 平成七年)

『内閣文庫影印叢刊 譜牒余録』上 (国立公文書館、昭和四十八年)

『三重県史』資料編 近世1 (三重県、平成五年)

『三重県史』資料編 近世2 (三重県、平成五年)

『三重県史』資料編 近世3上 (三重県、平成二十年)

『宮津市史』史料編 第二卷 (宮津市、一九九七年)

『四日市市史』第六卷 史料編 絵図 (解説) (四日市市、
平成四年)

『四日市市史』第八卷 史料編 近世Ⅰ 口絵・口絵写真説明・
総合解説（四日市市、平成三年）

第三章 東海道と宿場

亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』巻第一
城地・年譜部（亀山市、昭和六十一年）
慶七松著・若松實訳『海槎録 江戸時代第一次朝鮮通信使の記録』
（日朝協会愛知県連合会、昭和六十年）
黒板勝美編『徳川実記』第一篇（『新訂増補国史大系』第三十八巻
吉川弘文館、昭和四年）
児玉幸多監修『東海道分間延絵図』第十八巻 解説篇 石薬師・
庄野・亀山（東京美術 昭和五十九年）
『幕府法令上』（『近世交通史料集』八 吉川弘文館、昭和五十三年）
『幕府法令下』（『近世交通史料集』九 吉川弘文館、昭和五十四年）
『鈴鹿関町史』上巻（関町、昭和五十二年）
『東海道宿村大概帳』（『近世交通史料集』四 吉川弘文館、
昭和四十五年）
『日本渡航記／日本滞在記』（『新異国叢書』六 雄松堂書店、
昭和四十五年）

『舞阪町史』史料編一（舞阪町史研究会編 静岡県浜名郡舞阪町、
昭和四十五年）

『神奈川県史』資料編九 近世六（神奈川県、昭和四十九年）

第四章 町のようすと人々の暮らし

亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』（亀山市、
昭和六十一年）

『鈴鹿関町史』上巻（関町）

『三重県史』別編 絵図・地図（三重県、平成六年）

『明和五年亀山領内八十三ヶ村騒動記録集』（『亀山市歴史博物館歴
史資料叢書』第九集 亀山市歴史博物館、平成十三年）

第五章 村と農民の生活

亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』（亀山市、昭和六十一年）

亀山測候所編『三重県災害史』（三重県、昭和三十年）

柴田厚二郎『鈴鹿郡野史』複製版（名著出版、昭和四十八年）

深谷克己『津藩』（吉川弘文館、平成十四年）

『鈴鹿市史』第三卷（鈴鹿市、平成元年）

第六章 亀山領内の文化をめぐる諸相

網野善彦他編『講座日本荘園史』第六卷（吉川弘文館、一九九三年）

飯沼慾齋生誕二百年記念誌編集委員会編『飯沼慾齋』

（昭和五十九年）

石川謙『石門心学史の研究』（岩波書店、昭和十三年）

石川松太郎監修『往来物大系』第五七卷（大空社、平成五年）

石田龍次郎「日本における地誌の伝統とその思想的背景」（『地理学

評論』第三九卷第六号 古今書院、昭和四十一年）

井上智勝著『近世の神社と朝廷権威』（吉川弘文館、二〇〇七年）

植谷 元「伊藤仁斎の門人帳」（上）（中）（下）（『天理大学図書館

報 ビブリア』「諸生初見帳」六九号―七一号 昭和五十三―五十四年）

上野市古文文献刊行会編『定本三国地誌』上巻・下巻（上野市、昭和六十二年）

岡中正行・鈴木淳・中村一基編著『本居宣長と鈴屋社中―『授業門人姓名録』の総合的研究―』（錦正社、昭和五十九年）

小野武夫編『近世地方経済史料』第一巻（吉川弘文館、一九六九年）

笠井助治『近世藩校に於ける学統学派の研究』上（吉川弘文館、

昭和四十四年）

亀山市教育委員会編『近世亀山藩大庄屋記録九々五集』（亀山市、

昭和六十一年）

- 倉田康夫楮『古代国家と神宮領の展開』（東京堂出版、一九七三年）
- 小林秀樹「移動する寺院―亀山藩を通過した大名菩提寺を中心に―」（『月刊歴史海流』十九号、平成八年）
- 近藤喜博編『白川家門人帳』（清文堂出版、昭和四十七年）
- 阪本幸男編著『橘糸重歌文集』（短歌新聞社、平成二十一年）
- 佐々木裕子「『長瀬神社神主・田上家文書の世界』（亀山市歴史博物館歴史講座資料、平成十四年）
- 柴田厚二郎編『鈴鹿郡野史』複製版（名著出版、昭和四十八年）
- 神道大系編纂会編『神道大系』論説編九卜部神道（下）（神道大系編纂会、平成三年）
- 高埜利彦著『近世日本の国家権力と宗教』（東京大学出版会、平成元年）
- 萩原龍夫著『中世祭祀組織の研究』（吉川弘文館、昭和三十七年）
- 日本歴史学会編『概説古文書学近世編』（吉川弘文館、平成元年）
- 原田好雄「亀山藩校明倫館とその古文書―特に掲楣算法についての一考察―」（『名古屋大学日本史論集』下 吉川弘文館、昭和五十年）
- 深谷克己著『近世の国家・社会と天皇』（校倉書房、平成三年）
- 深谷克己『津藩』（吉川弘文館 平成十四年）
- 三重県総合教育センター編『三重県教育史』第一卷（三重県教育委員会刊、昭和五十五年）
- 宗政五十緒校注「有斐斎受業門人帳」一、二（上方芸文叢刊五『名家門人録集』八木書店、昭和五十六年）
- 文部省編『日本教育史資料』二（臨川書店、昭和四十四年）
- 山田水木著『亀山地方郷土史』第二卷（三重県郷土資料刊行会、昭和四十六年）
- 山田水木著『亀山地方郷土史』第三卷（三重県郷土資料刊行会、昭和四十九年）
- 山根隆宏・岸本真美「古義堂文庫蔵 伊藤東崖『初見帳』（一）」（六）『天理大学図書館報ビブリア』九一号―九六号）
- 『契利斯督記』（『続々群書類従』第十二 続群書類従完成会、昭和

四十五年)

『近世「のぼの」考―江戸時代の人々が見たヤマトタケル墓―』（亀山市歴史博物館、一九九九年）

『近世亀山藩関係史料調査報告書』図録編（亀山市歴史博物館、平成十五年）

「第十七回テーマ展示長瀬神社・田上家に伝わる古文書」（亀山市歴史博物館、平成三年）

『日本都市士生活集成』（三一書房、昭和五十三年）

『藩法集』一二 続諸藩（創文社、昭和五十年）

『三重県史談会々々志』附録頭註『三重賦』（萱生由章）（復刻『三重県史談会々々志』第二卷 郷土出版社、平成十一年）

『鈴鹿関町史』下巻（関町、昭和五十九年）

『藤垣内門人姓名録』（『三重県史』資料編 近世5 第六章 三重県、平成六年）